

リユースプラットフォーム事業 「おいくら」 との連携協定について

1 事業連携の目的及び背景

本市から排出される家庭ごみの中には、リユースできるごみも多く含まれており、昨今は独居高齢者の遺品整理など大量排出される機会も増えている。

家庭ごみの中に埋没する資源物の掘り起こしと有効活用を目的としたプラットフォームである「おいくら」を活用するため、事業者と連携協定を締結し、家庭ごみの削減及び資源化の促進を図る。

2 締結の相手

株式会社マーケットエンタープライズ 代表取締役社長 小林 泰士
東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル 3F

3 連携協定締結及び事業開始日

令和6年10月18日（金）15：00 ※協定締結は書面のみ、締結式は行わない。

4 事業の概要

「おいくら」は、リユースできる商品について、市民と業者間の売却マッチングするプラットフォームで、マッチングすればお金をだして処理していたものが売却できることになる。



5 連携自治体数

令和6年9月時点で、約150の自治体と連携協定を締結している。

近隣では福島市、会津若松市、伊達市。県内では三川町に続いて2例目となる。

6 市民への周知

- ・市長定例記者会見で発表
- ・市ホームページ、SNSでの発信
- ・ごみ分別冊子への掲載